



7月 ほけんだより

令和5年7月1日発行
新川崎みらいのそら保育園

温度も湿度も高くなっていくこの時期。熱中症や肌トラブルのリスクが高まりますので、こまめに水分補給を行い、汗をかいたら拭き、ぬれた服は着替えて体調管理に注意していきましょう。また今年度も熱中症予防のため、暑さ指数を測定しながら保育を行います。ご家庭でも予報を確認し、車内や屋外では特に熱中症に注意しましょう。

水遊びが始まります

- ☑ 園では、気温や暑さ指数などを見ながら、安全に配慮して水遊びを始めます。
- ☑ **水遊びは体力を消耗するため、ご家庭でも十分に体を休める時間をつくりましょう。**
- ☑ 園でも子どもの体調をよく見ていきますが、「何かいつもと違う」など、この期間は特に、家庭での様子を職員にお伝えください。

◆水遊びができない場合◆

- 【目】 結膜炎や目やにが多く出ている等病気や異常がある時
- 【耳】 中耳炎、外耳炎等病気や異常がある時
- 【皮膚】 とびひ等の感染性皮膚疾患、皮膚の炎症がひどい時
- 【その他】

- * 咳や鼻水、下痢、軟便、頭じらみ など
- * 風邪薬の服用時や気管支拡張剤(ホクナリンテープ等)を貼付した状態
- * 寝不足や元気がないなど体調不良時

●耳垢をとりましょう●



耳垢がつまった状態で、耳に水が入った場合耳垢が水分を含んで膨張するので、外耳道を閉塞させて聴力低下を起こすことがあります。それを放置すると外耳炎を起こすこともあります。

●つめを切りましょう●

つめが伸びていると、引っかかってけがをしたり、お友達を引っかいてしまったらと思わぬけがを招きます。



◆水いぼがある場合◆

水いぼと診断されており、主治医より経過観察と指示がある場合、ラッシュガード等で水いぼが覆えるようにした状態でしたら実施可能となります。水いぼがあるお子さんは必ず担任にお知らせください。

<夏風邪について>



手足口病

- ・口の中に赤い水疱ができ、飲んだり食べたりするのをいやがる
- ・手のひらや足裏に赤い水疱ができる
- ・発熱がでることもある

【登園再開の目安】

- ☑ 発熱や口の中の水ぶくれ・潰瘍が治まり、普段の食事がとれる
- ☑ 登園許可書は不要だが、登園は医師の判断による

咽頭結膜熱(プール熱)

- ・38~40°Cの高い熱が数日続くことがある
- ・のどが痛む
- ・白目の充血、まぶたの腫れ、涙や目やにが出る

【登園再開の目安】

- ☑ 発熱、のど及び目の発赤消失後 2日経過
- ☑ 登園時、登園許可書が必要

ヘルパンギーナ

- ・口の中、のどに白っぽい水疱ができる
- ・高熱が数日続くことが多い

【登園再開の目安】

- ☑ 発熱や口の中の水ぶくれ・潰瘍が治まり、普段の食事がとれる
- ☑ 登園許可書は不要だが、登園は医師の判断による

幸区内、5月~6月急増しています

6月の報告

今月はヘルパンギーナ幼児3名、アデノウイルス乳児1名、その他急性中耳炎や風邪症状で欠席のお子さんが多数いました。

- ◎ 歯科健診：1日
- ◎ 身体測定：12日(3-5歳)/13日(1,2歳)/14日(0歳)
- ◎ 三者連携集会：26日「むし歯予防」
- ◎ プール前健診：27日



7月の予定

- ◎ 身体測定：11日(3-5歳)/13日(0歳)/14日(1,2歳)
- ◎ 三者連携集会：18日「熱中症予防」



熱中症予防のために

今年度も熱中症予防のため、環境省発表の暑さ指数と園庭の測定値をもとに保育活動していきます。暑さ指数については園内掲示をご覧ください。

衣類の調節やこまめに水分補給を行い、お子さんがいつもと違う様子ではないか確認しながら過ごしましょう。